

ココロスイッチ

遠藤まり



絵・中原じゅん子

私、ちゃんとできているのかな？

ゴールデンウィーク明けの月曜日。柏原美咲はブルーな気持ちで家を出る。かしわばらみさき

中学一年生になって、一ヶ月ちよつと。

ぎゅうぎゅう詰めの電車通学、新しく築く人間関係。授業時間がのびて、難しくなった勉強。新生活の変化に自分はもちろんついていけないだろうか。

自分に問いかけつつ、美咲は駅までの道を急ぐ。

緑や土のにおいをふくんだ風。あちこちに咲く色鮮やかなツツジの花。さわやかな新緑の季節、五月。

しかし、今の美咲には五月のすがすがしさを感じる余裕はなかった。ゴールデンウィークが明けて、しばらくすると、人生初の定期テスト・中間テストが始まる。

予習復習をしつかりやって、先生が「ここ、テストに出すぞ」と言ったところは、必ずメモ。でも、自分の勉強方法がテスト勉強の仕方として正しいのか？ 自信がない。

学校でテスト勉強の話をすると「全然勉強していないよ」と、みんな言うけれど、それはきつと建前。

美咲が「私も全然やってなくて」と、言いながらも、家で必死に勉強しているように、他の子たちもきつと勉強している。だって、今回が人生初の定期テストなのだから。

みんなはどれくらい勉強しているのかな？ 私だけ全教科0点だったりしたら、どうしよう？

襲い来る不安をふり払うように、美咲は歩みを速める。それでも、胸のややもやは晴れなくて、思いつきり走りたくなる。T字路を曲がったら、走ろう。そう思った時。